



Olive News

オリーブニュース 2014. 7月号

【7月の行事記録】

- ・ 1日 矢吹町民生児童委員見学
- ・ 14日 側溝清掃(東洋学園と共同作業)
- ・ 16日 誕生会
- ・ 17日 送迎車両納車
- ・ 23日 理事会・評議員会
- ・ 28日 内郷婦人部ひまわり会見学

【8月の行事予定】

- 5日 利用者工賃支給日
- 6日 理事会(役員会)設計入札
- 12日 由仁町校舎設計者来訪
- 皆勤賞・就労継続B 賞与支給
- 14日 お盆休み
- 18日 9月以降の作業配置試行
- 21日 誕生会
- 27日 避難訓練

発行日 : 毎月末日 発行: 社会福祉法人愛篤福祉会 工房阿列布 編集: 板木紀子
 住所 : 〒973-8407 福島県いわき市内郷宮町峰根 65-187 電話 0246-36-3944 FAX : 0246-36-3922

丸紅基金からせっけん作業所整備

お知らせ

JKAから送迎車両届く



▼せっけん作業所の改修工事が完了しました。グリストラップの取付け(せっけんを製造する工程で油が浄化槽に流れ込まないようにする)と商品棚(完成した商品を保管する)が設置され作業の効率がUP。



▼七月十七日に新しい車両が納車されました。新しい送迎車は公益財団法人JKAの助成を受け日産のキャラバンを導入致しました。JKAは競輪やオートレース等の収益を通して地域社会貢献をしている法人です。新車両は以前運行していた中型バスの代わりに使用しております。空調もシートも快適と利用者の皆さんから好評です。



理事会・評議員会が開催されました

7月23日、理事会・評議員会が開かれました。職員規程の見直し、北海道避難所・共生型施設の行政対応の計画などの話し合いがもたれました。理事会も評議員会も現在、阿列布を利用している皆さまがより良く利用する為の話し合いや今後必要になるであろう事業計画の在り方について真剣な議論、意見がかわされました。

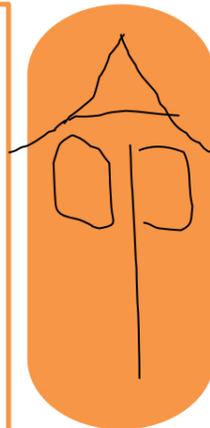


新年度が一段落した頃から各種団体より研修やセミナー開催のお知らせがあり職員はスキルアップの為にも積極的に研修に出かけております。

ダウン症候群の成人管理研修に職員6名他保護者も参加

「ダウン症候群の成人管理研修」
 ▼ダウン症候群の方の早老化、認知症化について学びました。認知症などは兆しから十年〜二十年先に症状として顕著化すると言われます。阿列布の支援のあり方について考えていかなければならないという思いを新たにしました。医療との連携で支援内容の充実を図ることが出来ないかと考えます。
 ▼ダウン症による早老化を少しでも遅らせるには刺激が必要である事。これからのように支援していくか考える必要性を感じました。
 ▼ダウン症の方が老化に至るまでの症状の速さが、印象に残りました。この老化を抑制するためには、会話や趣味に伴った活動などを通じ、日々の中で小さな変化に「気づく」こと、「手当て」をすることが大切だと改めて振り返ることができた講義でした(サービス管理責任者 坂本 潤)

▼ダウン症の子供をめぐるとの論議が社会問題化している。障害児の存在そのものが否定されるような風潮があり、障害を持つ家族の心情を察すると筆舌尽くせぬものがあります。
 ▼障害の子を育てるのはそんなに大変なことだろうか、育ててみると大切な存在であることに気づくでしょう。当人や家族は苦労と苦労もなく懸命に生きています。従って苦労とはたぶん他人が推測することなのでしょう。
 ▼医学の進歩はまさに日進月歩ですが、その扱いによって明暗が出てきます。人生は何が起きるかわかりません。良い物だけを選び通して幸せが保障されるのでしょうか・・・?



【寄付・物品寄贈の方々】 上野台 尚生様、大和田 春子様、福芝事務機様、コスモケアサービス様、ベストフードサービス様、アシストジャパン様、御厩ひまわりクラブ様、東部液化石油様、カルチェ・ド・シャンブリアン様、(順不同) 感謝申し上げます。

【編集後記】 今月は矢吹町や市内のご婦人方など、事業所見学を兼ねて沢山の見学者がお見えになりました。毎月お見えになる方がたが多くなり事業所も少しずつ認知度が高くなってきました。皆様は施設がきれいに保たれていることや、お花がいっぱいの施設の中に感動されております。この施設で働いている利用者さんは皆明るくて素晴らしいと絶賛！？されていまーす。利用者さんは幸せだね・・・とお客様方から言われるのが職員一同うれしいっす！

